



## 高校生を対象とした公開授業科目(第1学期)～2026年度版～

授業科目名	授業の概要	教養 専門 教育	担当教員	期間	曜日	時間
学習環境の現在と未来	現在・未来の学習環境の1つとなる、授業動画コンテンツを作成します。小・中・高等学校の教師になりきって、「AI」を活用した授業を行う数分間の動画を、グループで協働しながら作成、編集します。	教養	笹屋 孝允 (教育学部)	4月13日～6月8日 (計8回)	月	16:20～17:50
植物科学入門	本講義では、環境と植物の関わりに重点を置きながら、環境に対する植物の反応、環境応答に関わる植物ホルモン、遺伝子組換えやゲノム編集技術を利用した植物機能開発から、植物に関わる社会的な課題についても紹介する。	教養	市村 和也 (農学部)	4月13日～6月8日 (計8回)	月	16:20～17:50
様々な場所に潜む数学	この授業は、様々な場所に潜む数学を学ぶことによって、それらの現象を正しく理解するとともに、一見無機質に見える数学が生活に直接関わっていることを実感することを目的としています。異なる学部の教員がそれぞれ1コマ90分で、主に教員の専門内容に関する数学の内容について説明を行います。	教養	石井 知彦 他 (創造工学部)	6月11日～7月30日 (計8回)	木	16:20～17:50
生物科学入門 (植物と微生物)	本講義では、環境と植物の関わりに重点を置きながら、環境に対する植物の反応、環境応答に関わる植物ホルモン、遺伝子組換えやゲノム編集技術を利用した植物機能開発から、植物に関わる社会的な課題についても紹介する(1～8回)。本授業では、微生物や代謝、酵素、また、これらを利用した発酵について概説する(9～15回)。	教養	市村 和也 松沢 智彦 (農学部)	4月13日～6月8日 (1日2回、計15回)	月	18:00～19:30 19:40～21:10
哲学	哲学とは、「なぜ」「どうして」「～って何？」などの素朴な問いから物事を深く掘り下げていく学問である。この授業でも、身の回りの素朴な問いから始めて、それがどのような哲学者たちの問いと結びつくか、という作業を経て、自分の頭で問題を考えていこう。	教養	三宅 岳史 (教育学部)	6月16日～8月4日 (1日2回、計15回)	火	18:00～19:30 19:40～21:10
刑事法入門	本授業では、法務省が現在力を入れている再犯防止対策や、刑務所等での処遇に関して定める刑事施設収容法、仮釈放で刑務所出所した後の保護観察制度等を定める更生保護法、20歳未満の少年が犯罪行為等を行った場合に関する少年法、犯罪被害者の権利や関連する法制度とその運用を学びます。また、近年問題になっている、家庭内における犯罪としての児童虐待やDVの防止、精神障害を有する者が重大事件を行った場合の処遇制度についても扱います。	専門	平野 美紀 (法学部)	4月13日～7月27日 (計15回)	月	16:20～17:50
民法入門	民法は、不動産の購入、借金の連帯保証、アパートの賃貸、他人に怪我をさせたしまった場合の損害の賠償責任、結婚や相続など、私達の日常生活に密接に関わる身近な法律です。この授業では、民法の全体像を理解することを目的として、民法の体系を意識しながら学習します。	専門	深沢 瞳 (法学部)	4月14日～7月28日 (計15回)	火	16:20～17:50
政治学入門	この講義では、近代市民革命(イギリスのピューリタン革命・名誉革命、アメリカ独立革命、フランス革命)の時代から人類がどのような歴史の経緯を経て、これらの政治制度、経済体制を得ていったかを考えてみましょう。	専門	金子 太郎 (法学部)	4月17日～7月24日 (計15回)	金	16:20～17:50
法学入門 (夜間主コース)	この授業では、具体的にワークルール(労働や働き方)やセーフティネット(社会保障)とライフ(私生活)の関係性はどうかあるべきなのかという着眼点から出発して、広く法学の入門的知識を学びます。	専門	細谷 越史 (法学部)	4月17日～6月5日 (1日2回、計15回)	金	18:00～19:30 19:40～21:10
社会と文化 (夜間主コース)	この授業では、人類学と社会学において、これまで「社会」と「文化」をめぐってなされてきた議論のうち、特に重要と思われるものを講義する。授業では、民族、宗教、ジェンダー、グローバルイゼーションなど、現代社会を理解する上で不可欠なテーマについて、文化人類学や社会学をはじめとする人文社会科学の文脈の中でいかに探求されてきたのか、その研究蓄積を学ぶことで、アジアや世界の国々の多様性を理解すると共に、異文化・社会に対する眼差しを養うことを目指す。	専門	緒方 宏海 (経済学部)	4月14日～6月9日 (1日2回、計15回)	火	18:00～19:30 19:40～21:10
金融政策 (夜間主コース)	この授業では、1990年代の終わり頃から始まり、現在少しずつ正常化に向かっている「非伝統的な金融政策」を時間に沿って解説する。またそれと並行して、財政政策との関連性やアメリカの金融政策の動き、物価やGDP、為替レートなどのマクロ経済の状況にも注意を払う。	専門	藤原 敦志 (経済学部)	6月11日～7月30日 (1日2回、計15回)	木	18:00～19:30 19:40～21:10



香川大学では高校生を対象に授業を公開します。

本学の学生と一緒に受講することで、香川大学への興味を深めたり、知的刺激や進路選択に役立ててください。



URL <https://kagawa-u.ac.jp/cooperation-community/course/20433>